

学校評価アンケート結果まとめ<令和5年度・第1回実施分>

◎生徒への質問

	質問内容
1	自分は、授業の見通しをもち、主体的に取り組んでいる。
2	授業の終わりに「振り返り」をして、自分の学びを確認している。
3	(2・3年生への質問です) 数学の授業を少人数で行うことで、より理解しやすくなっている。
4	(全学年への質問です) 授業などでiタブやパソコンなどを活用している。
5	自分は、毎日授業以外に学習している。(家庭学習など)
6	学校は、花があり、掲示物がきれいに整理されている。
7	自分は、来校者に対して自分からあいさつしている。
8	自分は、奉仕・福祉活動(花植え作業、除草作業等)に取り組んでいる。
9	道徳の授業では、人間の在り方や人生をよりよく生きることなどについて考えを深めている。
10	自分は、行事に対して積極的に取り組んでいる。
11	いじめのない学校づくりに努めている。
12	自分は、学校生活の約束事を守っている。
13	自分は、給食等を通して食事の大切さを学んでいる。
14	自分は、自分の進路について考えている。
15	学校は、アルカス運動(学校の奉仕活動)や奉仕活動が行われ、地域に貢献している。
16	防災に関する学習を通して、災害時の対応を考えている。
17	ふだん家庭でパソコンやスマホ等(iタブを除く)でインターネット、SNS等を利用できる機器を持っていますか。
18	パソコンやスマホ、iタブ等でインターネット、SNS等をする時間は、1日にどれくらいですか。

◎保護者への質問

	質問内容
1	生徒は、授業の見通しをもち、主体的に取り組んでいる。
2	生徒は、授業の「振り返り」を通して、学びの実感をもつことができている。
3	(2・3年生保護者への質問) 2・3年生の数学での少人数による指導を通して、質問がしやすくなっている。
4	(全学年保護者への質問) 生徒は、授業などでiタブ(1人1台端末)等のICT機器を活用している。
5	生徒は、自ら学習に取り組んでいる。
6	生徒は、学びのための環境整備(整頓された教室や掲示物等)を自ら行っている。
7	生徒は、挨拶や礼儀をきちんとしている。
8	生徒は、福祉教育活動(花植え作業や除草作業、奉仕活動等)に進んで取り組んでいる。
9	生徒は、道徳の授業や学校生活を通して道徳性が育っている。
10	生徒は、行事において達成感や自己有用感を高めることができている。
11	生徒は、不登校やいじめが発生したときは速やかに対応し、いじめの未然防止の取組を行っている。
12	学校は、当たり前のことが当たり前にできるように、生徒指導を行っている。
13	学校は、給食活動を基本とした食育を推進し、食の大切さを理解させている。
14	学校は、話し合いや係活動の活性化を図り、望ましい人間関係の育成に努めている。
15	学校は、計画的に進路指導を行っている。
16	学校は、アルカス運動や奉仕活動が実施できるように支援している。
17	学校は、防災教育を推進し、防災意識の向上を図り、災害時の対応を考えている。

※回答は「そう思う」「おおよそそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4択式。

本集計では便宜上、「そう思う」→「肯定的」

「おおよそそう思う」→「やや肯定的」

「あまりそう思わない」→「やや要改善」

「そう思わない」→「要改善」

と表記する。

生徒回答合計 (169) 名

	肯定的	やや肯定的	やや要改善	要改善
Q1	36.7%	52.7%	10.1%	0.6%
Q2	30.2%	49.1%	18.3%	2.4%
Q3	54.7%	33.3%	7.7%	4.3%
Q4	69.2%	27.8%	3.0%	0.0%
Q5	47.9%	28.4%	17.8%	5.9%
Q6	59.8%	33.7%	6.5%	0.0%
Q7	40.8%	37.9%	17.8%	3.6%
Q8	32.5%	43.8%	20.7%	3.0%
Q9	53.3%	39.1%	6.5%	1.2%
Q10	47.9%	39.1%	10.1%	3.0%
Q11	52.1%	37.9%	8.3%	1.8%
Q12	52.7%	43.8%	3.0%	0.6%
Q13	60.9%	34.3%	4.1%	0.6%
Q14	45.6%	27.8%	19.5%	7.1%
Q15	43.8%	36.7%	13.6%	5.9%
Q16	45.6%	45.0%	8.3%	1.2%

Q3は2・3年生のみ対象。未回答は集計から省略しています。

生徒アンケート結果より

【肯定的傾向の回答の割合が高かった項目 (90%以上)】

- Q1.自分は、授業の見通しをもち、主体的に取り組んでいる。:89.4%
 - 生徒たちは授業の進行を理解し、自分から積極的に学習に取り組んでいることが示されています。主体的な学びの姿勢がみられます。
 - Q4 授業などでiタブやパソコンなどを活用している。:96.8%
 - Q6 学校は、花があり、掲示物がきれいに整理されている。:93.5%
 - Q11 いじめのない学校づくりに努めている。:90.0%
 - Q12 自分は、学校生活の約束事を守っている。:96.5%
 - Q13 自分は、給食等を通して食事の大切さを学んでいる。:95.2%
 - Q16 防災に関する学習を通して、災害時の対応を考えている。:91.2%
 - Q14 自分は、自分の進路について考えている。:90.0%
- これらの項目は、生徒たちが学校の環境整備やICTの活用、いじめ防止、約束事の遵守、食育、防災意識向上など、幅広い分野において肯定的な傾向を示しています。

【肯定的傾向の回答が比較的高かった項目 (80%以上)】

- Q3数学の授業を少人数で行うことで、より理解しやすくなっている。:88.0%
- Q9道徳の授業では、人間の在り方や人生をよりよく生きることなどについて考えを深めている。:83.1%
- Q10自分は、行事に対して積極的に取り組んでいる。:87.0%
- Q15学校は、アルカス運動(学校の奉仕活動)や奉仕活動が行われ、地域に貢献している。:81.5%

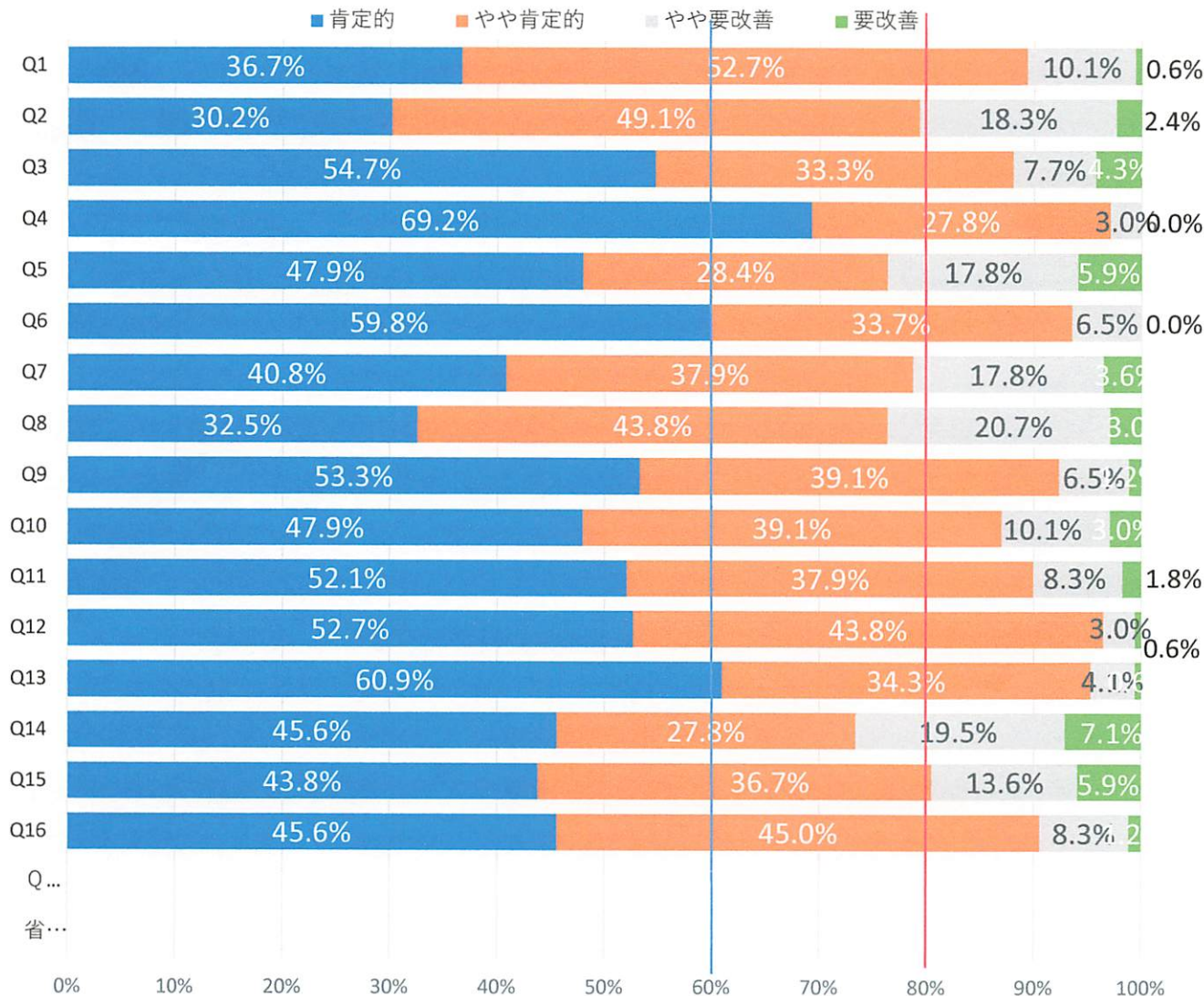
【低かった項目 (80%以下)】

- Q2.授業の終わりに「振り返り」をして、自分の学びを確認している。:79.3%
 - Q5自分は、毎日授業以外に学習している。(家庭学習など):76.3%
 - Q7自分は、来校者に対して自分からあいさつしている。:78.7%
 - Q8自分は、奉仕・福祉活動に取り組んでいる。:76.3%
- これらの項目については、改善の余地があることがわかります。学習の振り返りや家庭学習の継続、挨拶の徹底、奉仕活動への参加意欲の向上、地域への貢献意識の向上などが考えられます。

全体的には肯定的な傾向が強いですが、低かった項目に対して改善策を検討することで、学校生活の質を更に向上させていきたいと考えています。

学校評価アンケート結果 (対象:全学年生徒)

項目別回答割合



保護者回答合計 (149) 名

	肯定的	やや肯定的	やや要改善	要改善
Q1	23.6%	52.7%	20.3%	3.4%
Q2	18.9%	50.0%	27.0%	4.1%
Q3	23.2%	54.5%	18.2%	4.0%
Q4	58.8%	33.8%	6.8%	0.7%
Q5	26.4%	38.5%	21.6%	13.5%
Q6	18.2%	43.2%	27.7%	10.8%
Q7	39.9%	52.0%	5.4%	2.7%
Q8	31.1%	52.0%	15.5%	1.4%
Q9	29.1%	52.7%	16.2%	2.0%
Q10	21.6%	62.8%	14.9%	0.7%
Q11	33.8%	52.7%	12.8%	0.7%
Q12	19.6%	57.4%	18.2%	4.7%
Q13	25.7%	58.1%	12.2%	4.1%
Q14	50.7%	41.9%	6.8%	0.7%
Q15	33.8%	52.7%	8.8%	4.7%
Q16	23.6%	58.8%	12.2%	5.4%
Q17	27.7%	56.8%	14.2%	1.4%

Q3は2・3年生の保護者のみ対象。
未回答は集計から省略しています。

保護者アンケート結果より

質問項目ごとの「肯定的傾向」（肯定的・やや肯定的）の割合が合計して80%に達していたことから、学校の多くの側面で保護者皆様から肯定的な評価を得ていることが示唆されました。これは学校の取り組みと成果が保護者の皆様にご理解されてきていることがわかります。しかし、一方で、一部の質問項目において「肯定的傾向」が60%以下という結果も見受けられました。これらの点を踏まえ、今後の改善に向けて以下のことについて取り組んで参ります。

生徒の自主的な学習意欲の向上を図る取り組み: 質問項目1や5において、生徒の主体的な学習や自己学習への取り組みに関する評価が低いことが分かります。学校は、興味を引き、学びの魅力を高める方法を検討し、生徒が自発的に学びに取り組む意欲を促す授業がでているよう授業改善に努めていきます。

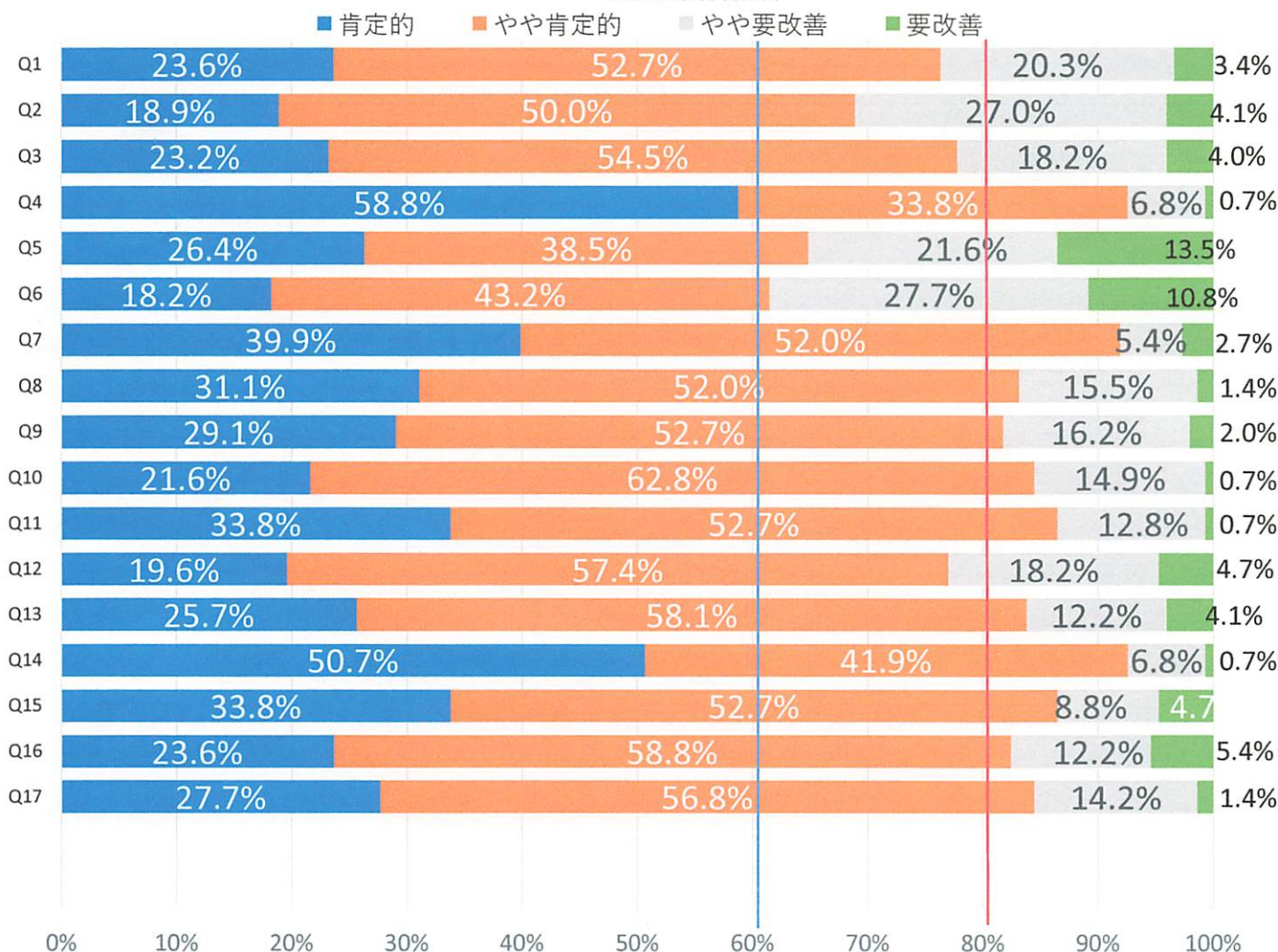
コミュニケーションと協力強化: 質問項目6や14において、生徒同士や教師とのコミュニケーションや協力関係に関する評価が低いことが分かります。学校は、グループ活動や対話の機会を増やすことで、生徒たちがお互いに支え合い、望ましい人間関係を築くことを支援する取り組みをしていきます。

防災教育と対応能力の強化: 質問項目17での評価が低かった点から、防災教育の充実と災害時の対応力向上が求められています。学校は、災害時の行動計画や適切な訓練を実施し、生徒と保護者の皆様に対して防災に対する意識と準備を高めるように取り組んでいきます。

学校は多くの側面で肯定的な評価を受けておりますが、改善が必要な点も明らかになっており、これらの改善点に対する取り組みを通じて、学校教育の更なる向上に向け、保護者とのコミュニケーションを深め、質の高い教育環境を提供し教育内容を充実するよう取り組んでいきます。

学校評価アンケート結果 (対象: 全学年保護者)

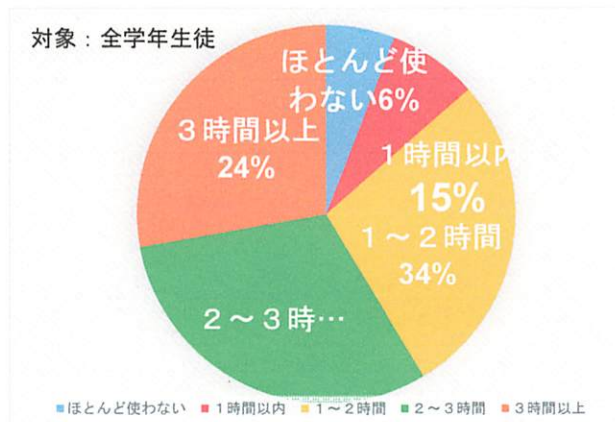
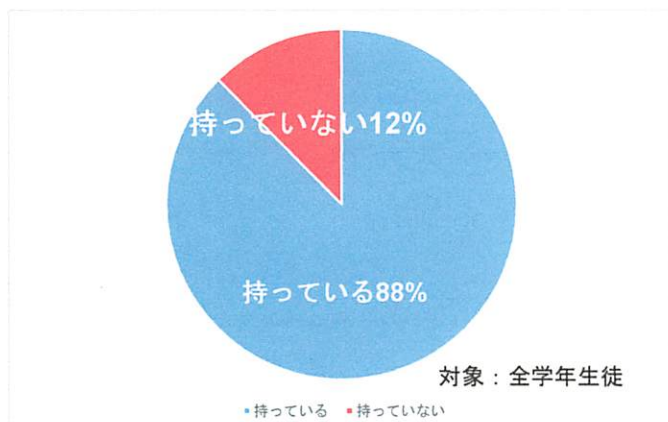
項目別回答割合



インターネット・SNS等の利用に関するアンケート結果

Q17. ふだん家庭でパソコンやスマホ等（i タブを除く）でインターネット、SNS等を利用できる機器を持っていますか。

Q18. パソコンやスマホ等、i タブ等でインターネット、SNS等をする時間は、1日にどれくらいですか。



88%の生徒が、i タブ以外に、パソコンやスマホ等のICT機器を持っていることが分かりました。家庭において、i タブの利用も含めたインターネット・SNS等を利用している生徒は94%となりました。さらに1日1時間を超えてインターネット・SNS等を利用する生徒の割合は74%でした。インターネット・SNS等の利用は日常的な行為として定着している中では、その利用の仕方や使用時間が重要になります。これらの情報機器を自分でコントロールして賢く、適切に利用することが必要になります。パソコンやスマホ等を購入するときは、ご家庭での利用の約束・ルールについて確認していただければと思います。学校としても継続してICTの使い方及び情報モラル向上について指導をして参ります。

学校教育目標を達成するための指標と比較して（令和5年度・第1回実施分）

【生徒への質問より】

教育目標を達成するための指標（各質問項目肯定的な回答80%以上）を掲げ、教育活動に取り組んで参りました。その指標とアンケート結果を基に考察いたしました。

肯定的な回答が80%を越えた質問項目は、①「主体的な姿勢での授業の参加」③「少人数での授業」④「ICTの活用」⑥「整理された学習環境」⑨「道徳教育」⑩「積極的な行事への参加」⑪「いじめのない学校づくり」⑫「規則の遵守」⑬「食育」⑮「奉仕活動と地域貢献」⑯「防災学習」の全16項目中11項目でした。これらの回答から整頓された学習環境においてICTを活用し、主体的に授業に参加することができていることがわかります。また、安心できる学校生活の中で、自ら授業や行事に取り組み、充実感を味わい、「自己有用感」が高められてると考えます。これらの生徒たちの取り組みがさらに充実したものとなるよう支援して参ります。一方、「授業の振り返り」「家庭学習の充実」「礼儀・挨拶」「奉仕活動」「進路学習」は、まだ不十分であると生徒たちは感じています。学校としては、授業での振り返りの場面の設定や家庭学習の重要性などのアドバイス等、学校教育全体を通して一層支援を充実させていきたいと考えています。

【保護者への質問より】

保護者の皆様から肯定的な回答（80%以上のもの）が得られたものは、④「ICTの活用」⑦「礼儀・挨拶」⑧「福祉活動」⑨「道徳教育」⑩「積極的な行事への参加」⑪「いじめのない学校づくり」⑬「食育」⑭「望ましい人間関係」⑮「進路指導」⑯「奉仕活動」⑰「防災教育」の全17項目中11項目でした。大変高い評価を得られたことを受け止め、さらによりよい教育を進めて参ります。これらの項目に関しては、保護者の皆様が実際に生徒たちのICTを活用している姿や、実際に活動したことをホームページや各種おたより等で確認できることでもあります。各種お便りや学校ホームページ等を活用した情報の発信をこれまで以上に積極的に行って参ります。

肯定的な回答が60%を下回るものはありませんでしたが、やや低かったものとして、⑤「自ら進んで学習する姿勢」⑥「学校環境整備」が挙げられます。⑤については、生徒・保護者ともに低い傾向にあります。家庭学習の充実のためには学校と家庭との連携が不可欠です。学校では引き続き学ぶことの大切さや意義を伝えると共に学ぶ楽しさを伝えていきます。また、家庭との情報共有し、生徒の学びの過程をお知らせできるような工夫をしていきたいと考えています。今後も本校の教育活動に、ご理解とご協力いただきますようお願い申し上げます。